

1. 学校の教育目標

当校は、調理及び製菓の専門技術習得の職業教育並びに実践教育を通しあいさつ、清掃、礼儀をわきまえコミュニケーション能力をもった社会に貢献できる心身共に明朗健全な人材を育成する事を目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・就職先のイメージをつかみやすく離職率を少しでも減少させるために、採用予定企業から人事や現場の方を呼び、生徒全員が企業の経営方針などの話を伺い、また店のメニューを実際にその場で作る等により多くの企業の理解を深めてから就職活動ができるように授業の工夫をする。
- ・従来からの受動的な勉強形態を改め能動的に学ぶ「アクティブラーニング」を用い、それを活かして職場では自ら考えて行動でき、他人からも認められる人格を持った人間の育成に力を入れる。
- ・実習で作った料理や菓子を自分たちで食して評価するのではなく、他人に試食して評価してもらえる機会を増やし、そのフィードバックにより技術や学びの質を向上させるシステムを構築する。
- ・地方公共団体等と親密に協力し合い、地元産食材の利用の促進やSDGsを推進する観点から食材の廃棄や廃棄されやすい食材の使用を積極的に利用できるようにする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

① 課題

- ・多面性のある学生を受け入れられるように精神的に弱い学生への配慮の必要が増しているが、学校でストレスを和らげる工夫をしても職場環境がストレスフリーにす

ることができないので、どう慣れさせるか課題が多い。

- ・コミュニケーション能力が不足している学生への対応が問題になっている。

② 今後の改善方策

- ・職員間で、精神的に不安定な学生や配慮が必要な学生についての認識や対応方法の共有を強化する。
- ・学生に対し、個性や性格の多様性について認識・理解させる。

③ 特記事項

「厳しい中にも優しさを」を教育概念としているが、厳しい環境を経験したことのない一部学生に厳しさを理解させるための標準的指導方法がみつからない。

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・目的に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 課題

学校運営の大体はかなり整備されてきたが、細かい点で改善の余地がある。

② 今後の改善方策

不定期での迅速な会議の開催、入学から卒業、同窓会まで情報の一元化。一元管理。

③ 特記事項

学生管理総合情報システムの効率的な運用。

(3) 教育運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、
------	------------------

	やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組がおこなわれているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか	4	③	2	1

① 課題

- ・教職員の資質向上のための授業会及び研修会の実施が少ない。

④ 今後の改善方策

- ・外部研修会への参加及び学内での研修会の開催。
- ・最新の食料課題を認識しSDGsを食の観点から考える。

③特記事項

- ・教員による研究成果を調理技術教育学会に投稿

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1

・ 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・ 卒業生・在学生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 目標とする退学者(率)を減らすことができない。
- ・ 近年の求人増で生徒は就職先を選べるが求人票の表面的な部分に価値を求める風合いがある。

② 今後の改善方策

- ・ 学校生活に適合できない学生に対する定期的な個人面談やカウンセリングの実施
- ・ 就職に関する各種講習の開催。

③ 特記事項

- ・ クラス担任制を導入し、学生の変化を早期に察知し、個人面談やカウンセリングにつなげる。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・ 学生の健康管理の担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・ 保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 卒業生が転職等により現状が把握が難しい。

② 今後の改善方策

- ・ 卒業生への情報提供。同窓会活動への支援。

③ 特記事項

- ・ 課外活動のためのクラブ活動（４活動）を実施。

(６) 教育環境

評価項目	適切・・・４、ほぼ適切・・・３、 やや不適切・・・２、不適切・・・１			
・ 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④	３	２	１
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	３	２	１
・ 防災に対する体制は整備されているか	４	③	２	１

① 課題

- ・ 防災は火災に対する対応は整備されているが今後発生が危惧される「東南海沖地震」に対する避難計画等がない。

② 今後の改善方策

- ・ 大地震に対する諸対応や各種計画を立てる。

③ 特記事項

なし

(７) 学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・４、ほぼ適切・・・３、 やや不適切・・・２、不適切・・・１			
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	④	３	２	１
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	４	③	２	１
・ 学納金は妥当なものとなっているか	④	３	２	１

① 課題

少子化・大学全入等の影響や他分野の学校との競合に伴い年々学生募集に苦労している現状の中、分野希望者に対し学園の特色や魅力等がどのくらい伝わっているかを客観的に評価する指標を見出す必要がある。

②今後の改善方策

公開授業や外部イベント参加、公の団体とのコラボ授業を増やし、学園に対する認知度を上げるとともに、イベント参加者の意見を分析する。

③特記事項

なし

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	③	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

- ・会計監査の充実を図る。
- ・支出の中に占める人件費比率が増加し続けている。

②今後の改善方策

- ・施設や設備投資に対する資金を確保するためむだな経費節減に取り組んでいく。

② 特記事項

- ・近年校舎を2棟新築移転行った影響で全体の収支がマイナスになっている。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価を公開しているか	④	3	2	1

①課題

学生や卒業生の個人情報を保護するため可能な限り印刷、回覧は避けているが、就職活動や欠席時の連絡等での使用において乱雑にならないか心配している。

②今後の改善方策

教職員が各自で使用したデータは印刷回覧を避け使用後処分するようにしている。

③特記事項

個人名の入ったデータ等の処分はシュレッダー等を使い責任を持って完全に処理する規則を作る。

(1 0) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

① 課題

- ・教育資源を利用した、公開授業の実施。

② 今後の改善方策

- ・一般社会人を対象とした活動で社会的地位の獲得。

③ 特記事項

- ・地域の生産者の方に地域農産物の話をしてもらい、組合や地方公共団体と協力して新しい消費や流通方法を考えて実行する特別授業を行っている。
- ・クラブ活動（ボランティア部）による子ども食堂への参加。